



日本キワニス文化賞を受賞した東郷文弥節人形浄瑠璃保存会のメンバー（右から4人）

＝17日、薩摩川内市東郷町斧刈

東郷浄瑠璃に文化賞

キワニス
日本財団 県内では初受賞

キワニス日本財団は17日、薩摩川内市の東郷文弥節人形浄瑠璃保存会に日本キワニス文化賞を贈呈した。日本の伝統文化に貢献した団体・個人に贈っており、今回が56回目。鹿児島県内の団体・個人では初受賞。

贈呈式には保存会の野久尾忠会長(66)らメンバー4人が出席。キワニス日本地区の林隆秀次期ガバナー(67)が「東郷の人形浄瑠璃に賞を贈れることは大変うれしい。未永く維持してほしい」とあいさつし、賞状や奨励金の目録などを手渡した。東郷文弥節人形浄瑠璃は江戸時代から続く伝統芸能で、2008年に国の重要無形民俗文化財に指定。保存会が年3回公演し継承してきた。新型コロナウイルス感染が拡大した20年3月から公演を中止している。

文化賞は「逆境の中でも練習を続け、300年を超える歴史をつないでいる」などとして受賞を決めた。野久尾会長は「まさかと思っていたので賞はびっくりしている。後継者不足で伝統継承はできるかという思いはあるが、賞に負けないようがんばりたい」と感謝した。(高嶺千史)